


平成 23 年度 医動物・種類同定検査のまとめ（7～9 月）

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。平成23年7月から9月の種類同定検査件数は、14件でした。内訳は昆虫類11件（ハチ目・コウチュウ目各3件、チョウ目2件、ハエ目・シロアリ目・トビムシ目各1件）、その他3件でした。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
浴室および台所から羽アリが大量に出てくる。	 有翅虫、黒色、約9mm	ヤマアリ亜科の 雌有翅虫 (ハチ目 ヤマアリ亜科)	本科は、温帯地方では大型で活発な種類を含み、地上活動性の種も多い。営巣場所は多くの種では地中である。アリ類は決まった時期、無数の有翅虫(雌雄成虫)が結婚飛行のため巣から飛び立つ。種類によって結婚飛行の時期は異なる。飛行を終えた雌雄成虫は、灯火、窓際に多数飛来し、不快害虫となることが多い。
ベランダ下の穴から、ハチが出入りしている。	 成虫、黒色、約10mm	ヒメハキリバチ (ハチ目 ハキリバチ科)	初夏から初秋にかけて営巣する。巣は、枯死した樹幹中の坑や竹筒などを利用する。本州に分布する。
戸建住宅の2階居間台所でアリが発生している。	 働き蟻、黒色、約2mm	ルリアリ (ハチ目 カタアリ亜科)	草地や林縁部の枯れ枝、朽木内、石の下などに営巣する。屋内に侵入し、電子機器の内部に入り故障を起こした例もある。関東以南に分布する。
庭で黒い虫が多数みられる。	 成虫、黒色、約8mm	ヒゲブトハムシダマシ (コウチュウ目 ハムシダマシ科)	成虫は石や落ち葉の下などに多く、また枯れ枝や薪にも集まる。また、灯火にも飛来する。幼虫は枯れ木の皮などを食べるといわれている。
石膏ボードを突き破って、虫がでてきた。	 成虫、黒色、約22mm	クロタマムシ (コウチュウ目 タマムシ科)	成虫は6～9月に発生する。体色は黒色で、青銅色あるいは銅色の光沢がある。また個体変化が多く、緑色、青色などを帯びることもある。幼虫は、マツ類、モミ類などの枯材を食べる。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
家屋内で虫がみられる。	 <p data-bbox="403 517 659 551">成虫、茶褐色、約2mm</p>	タバコシバンムシ (コウチュウ目 シバンムシ科)	成虫は年2~3回発生し、9月~10月に発生ピークがある。食品を加害するのは幼虫のみで、その食性は広く、被害食品の種類は100種をこえる。パン、ビスケット、コーヒー、ココア、豆類、ドライフルーツなど多くの乾燥食品を加害する。
家の外壁に虫がみられる。	 <p data-bbox="403 819 659 853">幼虫、黒褐色、約7mm</p>	ヤネホソバ (チョウ目ヒトリガ科)	成虫は年3回の発生。幼虫の食草は、地衣類などの苔で、屋根や屋根瓦、板塀、石垣などに生えた地衣類を食べる。糸をたらして人家内に侵入する。幼虫に触れると刺され痛みやかゆみを感じる。蛹で越冬する。
家の外壁や地面に、大量の幼虫がみられる。	 <p data-bbox="403 1104 659 1137">幼虫、灰黒色、約30mm</p>	ハスモンヨトウ (チョウ目ヤガ科)	休眠しない移動性のガで、暖地では1年を通じて幼虫がみられる。ダイズ、サトイモなど多くの作物の害虫として知られる。幼虫の食草は80種類以上の報告がある。
7階建てのマンションの3階廊下に群飛している。	 <p data-bbox="403 1395 659 1429">成虫、黒色、約2mm</p>	ナガサキニセケバエ (ハエ目 ニセケバエ科)	成虫は、ごみ溜めや糞、下水溝などの腐敗物から発生する。生存期間は2~5日と短い。雌成虫は、餌をとらず、羽化後24~30時間後には産卵を開始し、産卵すると間もなく死んでしまう。食品工場などの周辺で大発生することがある。
トイレの床付近で虫がみられる。	 <p data-bbox="403 1686 659 1720">職蟻、乳白色、約3mm</p>	ヤマトシロアリ (シロアリ目 ミゾガシラシロアリ科)	ヤマトシロアリは、イエシロアリのように特別な塊状の巣は作らず、好適な生活環境を求めてコロニーが移動する。乾燥に弱く、常に湿った木材など多湿な場所を好む。
ログハウスのフローリングに虫がみられる。	 <p data-bbox="403 1977 659 2011">成虫、茶褐色、約2mm</p>	アヤトビムシ科 (トビムシ目)	トビムシ目の多くは雑食性であり、落ち葉や腐植物、菌類などを食べる。多くは土壌の表面、落葉中に生息するが、樹上、水際などにみられることもあり、生活圏は極めて広い。腹部にある跳躍器で跳びはねることができる。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
就寝中にかゆみを感じた。肌が赤くなり、小さな腫れがみられた。	 成体、茶褐色、約0.5mm	イエダニ (クモ綱ダニ目 オオサシダニ科)	イエダニの成体は長卵形で淡褐色である。主として、ドブネズミ、クマネズミを宿主とする。ときに、ヒトを吸血する。
2階居室内に糞がみられる。	 糞、黒色、約12mm	コウモリの糞	コウモリの糞の形態は、らせん状である。糞の内部には多数の昆虫片が認められた。
屋根の上に多量に糞がみられる。	 糞、黒色、約5~15mm	コウモリの糞	同上

【 検査研究課 医動物担当 】